

発行日：平成28年7月7日

事務局：舞鶴市 企画政策課 電話：66-1042 FAX：62-5099

政策づくり塾修了生対象

『ファシリテーション（会議などの進行）能力向上』

研修会報告

今年度の「第5期政策づくり塾」の活動も第2回を終了したところですが、今年度から修了生が塾に関わり現塾生の活動をサポートする「塾生OBアドバイザー」を設置することとなりました。7月1日(金)、アドバイザーとしての心構えや、活動がスムーズに進むように支援する技術を学ぶ研修会を開催しました。

(日時) 7月1日(金)18:15~20:15 (場所) 301会議室

(参加者) 講師：窪田好男塾長(京都府立大学公共政策学部教授)

受講者：10人(1期生8名、3期生1名、4期生1名)

(1) 事務局説明「修了生による塾活動の支援について」

これまでの政策づくり塾の実績を踏まえ、さらに塾活動を活性化させるため、また修了生の更なる能力開発を目的に、今年度から、新たな取り組みとして、修了生が塾活動に関わり支援するしくみを取り入れることとなったことの説明がありました。

● 塾生OBアドバイザーの設置

現塾生の公共政策活動へのアドバイスを行うアドバイザーの設置(計4名程度)

【活動内容】

グループの地域公共活動へのアドバイス、グループ活動での悩み相談、グループ活動の進捗状況などについて事務局との情報交換

【アドバイザーの条件】

- ① グループ活動の主体は現塾生であることを理解し、現塾生の主体性ややる気を尊重し、支援ができること、
- ② 塾生に寄りそいサポートできること
- ③ 原則塾の活動日に参加でき、塾生や事務局から支援の要請がある時に対応が可能であること。

【待遇】正規の塾活動での支援については、一定の報酬あり。

【申し込み等】

7月8日(金)正午までに、事務局へ申し込み(提出課題あり)

塾長による選定の結果を7月下旬までにお知らせします。

● **修了生と現塾生との交流・意見交換の場の設置**

修了生と現塾生が情報交換することで塾生は今後の活動のヒントを得る場とし、修了生はネットワークを広げることを目指す。

7月8日(金)18:15～ 第3回政策づくり塾において、修了生による活動報告と自由な意見交換を実施(会場は市役所本庁本館3階301会議室)

(2) 講義「ファシリテーション講座 -プロジェクトとグループワークを上手に支援する-」

現塾長の京都府立大学公共政策学部 窪田好男教授からファシリテーション能力向上の基礎知識を学びました。



1. ファシリテーションとは

単なる会議術・司会術ではなく、知的生産性や創造性を向上させる術である。

- ◆中立な立場で
- ◆チームのプロセスを管理
- ◆チームワークを引き出す
- ◆チームの成果が最大となるよう支援する

2. ファシリテーターに求められる力

「プロセスをデザインする」「場をコントロールする」「触発し、かみ合わせる」時にはツールを使いこなし、チームが楽しみながら活動できるように促す。

⇒大切なのはメンバーが主役でファシリテーターは支援者であるということ。

3. 塾活動において

しんどすぎない満足感とメンバーの見せ場を作ること。

(3) グループワーク

テーマ「政策づくり塾の更なる活性化に向けた提案・アイデアについて」

まず「政策づくり塾に来て良かったこと」をテーマにそれぞれの思いを述べました。

- ◆ここでしか会えない人たちがばかりで人脈ができた。

- ◆市の仕事・考え方を教えてもらえた。
- ◆塾活動を経験する中で、自分の生きる道を見つけることが出来た。
- ◆自分の未熟さを感じた。今ならもっと出来たかもしれない。
- ◆塾については、外部では褒めて紹介している。自分にとっては、塾活動が転換期になった。もっと広く塾活動をPRしてはどうか。
- ◆行政と市民の役割分担について、仕事の中でより考えるようになった。市民感覚がつかめるようになった。
- ◆活動を自由にやれたのが良かった。結論やゴールを見据えすぎずに活動するのも良いと思う。
- ◆個性のある人と知り合えた。メンバーは皆、意識が高く元気あふれる市だと思った。行政と市民との壁が低い市だと思う。
- ◆塾活動は1年間で終わりではなく、今回修了生向けの研修の場、学びの場を新たに設定されたことは大変良いことだと思う。 など

【まとめ】

新たな政策づくり塾のあり方検討のポイントを3点にまとめました。

- ① 人と繋がりができて良かったので、元気な人に政策づくり塾に来てもらう仕組みづくり
- ② 塾活動の構成について、現在のようにある程度ゴールを決めて活動するのか、フリーで活動をするのか。
- ③ 塾活動終了後修了生をフォローする制度の検討（今回のような研修はありがたい）



▲グループワークの様子



▲窪田塾長から修了証の授与